

中学年

- 主題名 命あるものを大切に (D 生命の尊さ)
- 教材名 「ヒキガエルとロバ」(『わたしたちの道徳』3・4年)
- ねらい 一生懸命生きようとするものを見つめ、一生懸命さを感じ取ることを通して、生きているものすべての生命を大切に育てる。
- 学習指導過程

	学習活動 (主な発問と予想される児童の反応)	具体的な指導・援助
導入 3分	1. ヒキガエルの絵を見て、感想を出し合う。 ・気持ち悪い ・いやな感じ	・率直な感想を出し合わせる。 ◇ねらいとする価値への方向付けを行います。 ※展開の時間を確保するため、短い時間で行います。
展開 39分	2. 教材を読む。 ◇児童に音読をさせると、音読した子が教材を理解することが他の子よりも難しくなります。 3. ロバの姿・行いについて、意見交流をする。 ○「目をとじている小さな生き物に鼻を近づけ、友達を見るようなやさしい目でじっと見続けていた」、「自分に残った全ての力をふりしぼるかのように、歯を食いしばって、足に力を入れた」とありますが、どのような思いでロバはこのような行動したのだろう。 ・ヒキガエルも人間にひどいことをされてかわいそうだ。 ・自分が頑張れば、何とかヒキガエルを助けることができる。 4. アドルフたちの、ロバやヒキガエルを見る目の変化について考える。 ○遠く去っていくロバのすがたを、いつまでもいつまでも、ながめていたアドルフたちは、どんな思いでいだろう。 ㊦一生懸命生きているロバやヒキガエルは立派だと思ふ。人間はひどい。恥ずかしいことをしてしまった。	・教師が範読する。 ◇この2つの場面のイラストを提示すると、考えやすくなります。 ◇ロバに自我関与した率直な意見を出し合わせます。 ◇意見を、「反省」「助け合い」「生き物は平等」などに分類して板書していくと、意見が整理され、自分はどの気持ちが強いかを考えるための助けとなります。 ◇選んだ理由をみんなで交流していくことで、ねらいとする価値観に関わる話し合いにすることができます。

	<p>①力のあるロバが小さいヒキガエルを守るとい う助け合いの姿勢が立派。</p> <p>②命あるものは、区別なく全て大切である。</p> <p>○自分は、⑦～⑩の、どの意見に近いだろう。 その理由も考えよう。 質問があれば出してみよう。 ※質問「人間って、命を食べて生きている。どう 考えたらいいの？」</p> <p>○すべてに命があるけれど、大切にしてきたかどう かを振り返る。</p>	<p>◇質問の内容は、現代的な課題を含 んでいる場合があります。答えが 一つではないものについては、そ の課題に気づいたことをほめるよ うにします。</p>
<p>終 末 3 分</p>	<p>5. 今日の振り返りをする。</p> <p>○今日の友達の意見から、自分の考えが変わったと ころはありますか。</p>	<p>◇変わったところがあれば、そこが学 習の深まりといえます。変わったと ころがない場合も、意見を参考にし た結果、確かになったところすか ら、それも認めるようにします。</p>

<板書計画>

◇登場人物を絵で示すと、自分のこととして
考えやすくなります。

◇板書は、全員の意見を全て書くと、かえって分かりにくくなります。キーワードのみを書いたり、似た意見はネームプレートを貼ることでまとめたりし、思考の助けとなるような板書を心がけましょう。

第 回 道とく 「ヒキガエルとロバ」

年 組 番 名前 ()

○とおくさっていくロバのすがたを、いつまでもいつまでも、ながめていたアドルフたちは、どんな思いでいただろう。

(自分の考え)

○命を大切にしてきたかどうか自分をふり返ってみましょう。
